

【第3時】数談タイム 「グループ問題を解いて、解答発表」

授業の視点

話し合いや発表の観点を「条件の変え方と解答の考え方」にすることは、生徒が見通しをもち、自分の問題を様々な視点から発展的に考えることに有効であったか。(検証項目2)

(1) 目標

各グループから出題された問題を意欲的に解決しようとし、様々な数量の関係や法則を見つけ出すことができる。

(2) 準備

各グループから出題された問題をまとめた学習プリント 自己評価カード

(3) 展開

ねらい(時間)	生徒の活動	支援及び留意点・評価
1 前時の学習内容を振り返り、本時に取り組む活動「数談タイム」とその内容を捉えさせる。 (5分)	本時の活動内容を知る。 【数談タイム】 ・問題を解く ・グループによる解答発表、意見交換	グループによる解答発表、意見交換のときの観点は、前回同様「条件の変え方と解答の方法」であることを押さえ、グループ内発表と同様、いろんな意見を出してほしいことを伝える。
2 各グループがつくった問題を解き、自分の考えをまとめさせる。 (15分)	各グループがつくった問題を解く。	生徒が問題を意欲的に解決していけるように、問題を解く時間を十分に取りたい。 うまく解決できない生徒に対しては、自分がつくった問題や自分のグループがつくった問題の解き方を参考にさせ、自己解決できるようにさせたい。 【関】グループから出題された問題を意欲的に解決しようとする。(学習プリント、行動録)
3 各グループの発表を聞き、自分の意見を発表できるようにする。 (20分)	解答発表を行う。 各グループの発表を聞き、自分の意見を発表する。	教師は司会的な役目を行い、グループの発表に対して、条件の変え方で工夫されているところや自分の解き方との相違点など、観点を捉えた発表できるようにしていきたい。 生徒の積極的な発言を優先しながら、一人一人の意見や考え方が発表されるように指名も行う。
4 本時を振り返らせ、数学の問題に対するとらえ方をまとめさせる。 (5分)	本時の内容を振り返り、大切な考え方、不十分だった点などをまとめる。	本時の学習を振り返らせることによって、各グループがつくった問題からも様々な考え方ができることを確認し、数学の問題に対して様々な角度からとらえられるようにすることの大切さを生徒の意見等を交えながら、まとめていきたい。